



得する

節エネ 省エネ 再エネ

インフォメーション



NEW環境原
マスコット
キャラクター

eco た3うくん

1000ppm以上の場所を複数確認

CO₂モニターによる換気状態が見える化

●脱炭素化支援㈱

換気不足による新型コロナウイルスなど感染症の拡大、CO₂濃度上昇による人体への影響（倦怠感、耳鳴りなど）、換気過剰による空調設備のエネルギー使用量の増大など適切な換気対応ができないことで引き起こされるデメリットは非常に大きく、近年、見直されるべき重要な課題となっている。

脱炭素化支援㈱はCO₂モニターによる換気状態の見える化に加え、国家資格者エネルギー管理士・建築設備士のアドバイスにより、感染症対策と省エネ対策の両立を実現するサービス「注意喚気®」を提案している。今回、密閉空間の換気状態を把握するため、CO₂モ

ニターでさまざまな室内のCO₂濃度を計測した。その結果、「換気の悪い密閉空間」とされる1000ppm以上の場所を複数確認した。普通電車では車内満員（他人との隙間あり）の場合、CO₂濃度1417ppm、飛行機内満席の場合、2107ppm（離陸直前）となった。同社によると、CO₂モニターの普及台数は1832台（2021年10月29日現在）。今後、受注につなげていく。



CO₂モニター